平成 26 年度 児童生徒の食生活等 実態調査のまとめ

平成27年3月

香川県教育委員会

目 次

Ι	調	査の実施概要
	1	調 査 目 的・・・・・・・・・・・・ 1
	2	調 査 期 日・・・・・・・・・・・・ 1
	3	調 査 対 象・・・・・・・・・・・ 1
	4	調 査 内 容・・・・・・・・・・・・ 1
	5	調 査 方 法・・・・・・・・・・・・・ 1
	6	調 査 票・・・・・・・・・・・・・ 2
\prod	調	査結果の概要
	1	身体・身体活動状況・・・・・・・・・・・・ 9
	2	食事摂取基準の状況・・・・・・・・・・・・10
	3	食品群別摂取状況・・・・・・・・・・・・・・12
	4	食生活アンケート・・・・・・・・・・・・・23
	5	児童生徒の朝食の摂取状況と心身の状態の関係・・・・・31
	6	児童生徒の朝食内容と心身の状態の関係・・・・・・32
	7	児童生徒の就寝時刻と朝食摂取状況、心身の状態の関係・33
	8	児童生徒の食事の手伝いや食事作りと心身の状態の関係・34
	9	児童生徒の食事環境と心身の状態の関係・・・・・・36

I 調査の概要

1 調査目的

児童生徒の家庭における食生活等の実態を把握し、学校給食の食事内容の改善や食に関する指導の充実に役立てるとともに、家庭との連携を深めることにより、児童生徒の望ましい食習慣づくりを図るための基礎資料を得る。

2 調査期日

平成26年7月

3 調査対象

栄養教諭または学校栄養職員が配置されている小・中学校について、小学校は5年 生1学級、中学校は2年生1学級を対象とする。

調査対象校数と調査人数等

区分	調本計争均粉	調査数	回答数			
調査対象校数		阿里 教	男	女	計	
小学5年(10歳)	52 校	1,586人	654 人	651 人	1,305 人	
中学2年(13歳)	26 校	889 人	331 人	355 人	686 人	

4 調査内容

- (1) 身長・体重・身体活動レベルと家庭における月~金曜日の5日間の食物摂取頻度調査*
- (2) 食習慣等の状況

5 調査方法

栄養教諭または学校栄養職員が調査対象の児童生徒に調査用紙を配付し、調査と記録の方法について説明し、調査票1は家庭で児童生徒の保護者が、調査票2は児童生徒が回答する。

調査用紙の様式 調査票1 「食物摂取頻度調査 調査票」 調査票2 「食生活アンケート」

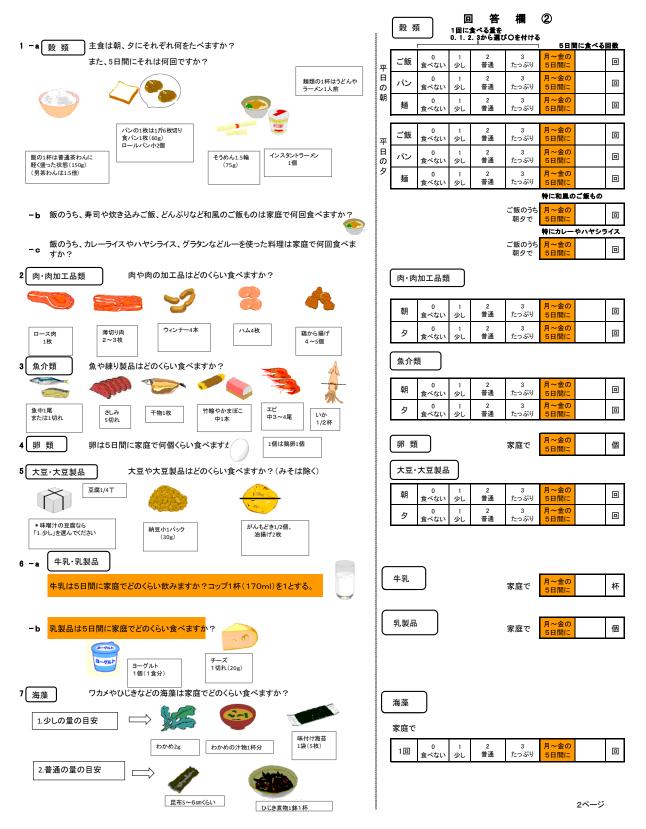
食物摂取頻度調査*:特定の食物や栄養素の摂取量を知ることを目的に作成され、食品や栄養素の摂取と疾病との関連を見出す疫学調査で利用されている。食品リストにより設定された重量とその摂取頻度を回答する方法。本調査で使用した「食物摂取頻度調査 FFQg Ver. 3. 5」は、最近1~2 か月程度のうちの1週間を単位として、食物摂取量と摂取頻度から食品群別摂取量等を推定するもの。

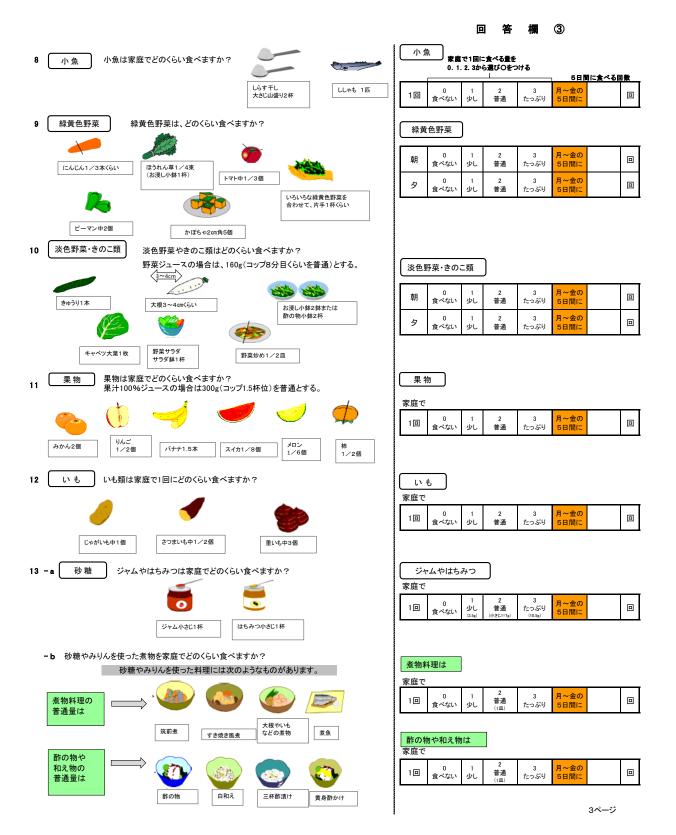
6 調 査 表



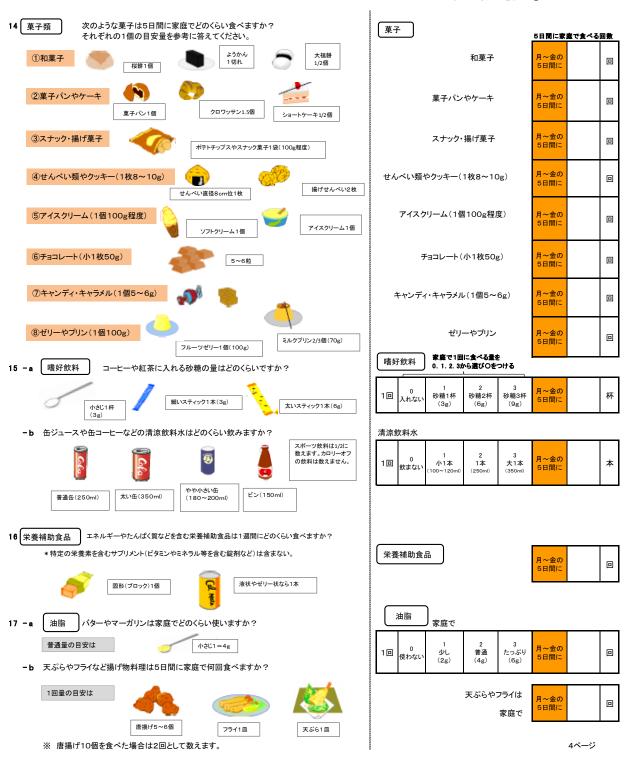
★記入方法 食品ごとに示した図はふつう量の目安です。この分量を参考にして1回に食べる量を回答してください。

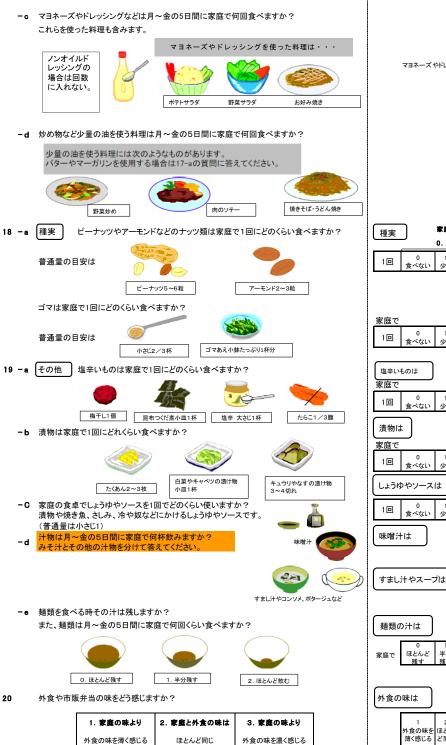
「0. **食べない**」は<u>5日間に1度も食べない場合。「1. **少し**」は普通量の1/2。「3. たっぷり</u>」は<u>普通量の1.5倍</u>が目安です。





回答欄④





回 家庭で5日間に食べる回敷 マヨネーズ やドレッシングは 家庭で 回 炒め物は 家庭で 回 家庭で1回に食べる量を 0. 1. 2. 3から選び○を付ける 0 食べない 2 普通 3 っぷり 回 □ 普诵 たっぷり 食べない □ 回 食べない 普诵 家庭で 3 たっぷり 2 普通 回 1 少し 回 家庭で 回 家庭で 麺類を食べる回数は



1 外食の味を 薄く感じる と同じ 温く感じる

ご記入ありがとうございました。

5ページ

【調査票2】 食生活アンケート

	番号					
<u>性別 男 ・ 女</u>	(ID)					
※ あてはまるものの番号を、右の__に書いてく	<i>だ</i> さい。					
問1 あなたは、朝、何時ごろに起きますか。 1 6:30より前 2 6:30~6:59 3 7:00~	~7:29 4 ′	7:30以降				
問2 あなたは、夜、何時ごろに寝ますか。 1 9:00より前 2 9:00~9:59 3 10:00~10:59 4 11:00~11:59 5 12:00以降						
問3 あなたは、毎日朝食を食べますか。 1 必ず食べる 2 1週間に4~5日食べる 3 1	週間に2~3日	食べる	4 ほとん	ど食べ	ない	
問3で2、3、4と答えた人に聞きます。その理由はなんですか。 1 食欲がないから 2 太りたくないから 3 時間がないから 4 いつも食べないから 5 朝食が用意されていないから 6 その他()						
問5 朝食はだれと食べることが多いですか。 1 家族そろって食べる 2 家族のだれかと食べる	う 3 子どもだ	ごけで食べる	4 —	人で食	べる	
問6 あなたは、毎日夕食を食べますか。 1 必ず食べる 2 1週間に4~5日食べる 3 1	過間に2~3日	食べる 4	. ほとんと	きなべた	えくい	
問7 夕食はだれと食べることが多いですか。 1 家族そろって食べる 2 家族のだれかと食べ	る 3 子ども	だけで食べ	る 4 -	一人で1	食べる	
問8 あなたは、家で食事をするときに「いただきます」「こ 1 いつもする 2 することが多い 3 しない						
問9 あなたは、夕食を何時ごろに食べますか。 1 6:00より前 2 6:00~6:59 3 7:00~ 4 8:00~8:59 5 9:00以降	~7:59					
問 10 あなたは、3度の食事以外に、間食や夜食を食べ 1 ほとんど毎日食べる 2 1週間に4~5日食べ 3 1週間に2~3日食べる 4 ほとんど食べない	る	お茶は除く。)			

	あなたは、食べものの好ききらいはありますか。(食物アレルギーは除く。) きらいなものはない 2 きらいなものが少しある 3 きらいなものがたくさんある	
1	きらいな食べものは、食事のときにはどうしていますか。 きらいなものはない 2 がまんして食べる 3 学校では食べるが、家では食べない 少しだけ食べる 5 食べない	
	あなたは、毎日排 使 がありますか。 毎日ある 2 2~3日に1回ある 3 1週間に1回程度ある 4 決まっていない	
問 14	あなたは、身体のだるさや疲れやすさを感じることがありますか。 いつもそうだ 2 ときどきそうだ 3 そんなことはない	
-	あなたは、何もやる気がおこらないと感じることがありますか。 いつもそうだ 2 ときどきそうだ 3 そんなことはない	
-	あなたは、イライラすることがありますか。 いつもそうだ 2 ときどきそうだ 3 そんなことはない	
-	あなたは、食事が楽しいですか。 いつもそうだ 2 ときどきそうだ 3 そんなことはない	
	あなたは、前向きな姿勢でものごとに取り組んでいますか。 いつもそうだ 2 ときどきそうだ 3 そんなことはない	
	あなたは、家で自分で調理をすることがありますか。 ほとんど毎日 2 1週間に数回 3 1か月に数回 4 しない	
-	あなたは、家で食事のときに手伝いをすることがありますか。 ほとんど毎日 2 1週間に4~5日 3 1週間に2~3日 4 しない	
1 4 8 * 2 * 3	あなたは、今日、朝食に何を食べましたか。(複数回答句) 食べていない 2 ご飯・パン・麺類等の主食 3 魚・肉・酢・大豆製品等のおかず 野菜のおかず 5 果物 6 牛乳・乳製品 7 汁物(みそ汁・スープ等) その他(2の「パン」は、食パン・ロールパン・サンドイッチ・ピザ・ホットドッグです。 それ以外のパンは、8に書いてください。 1~7のどれにあてはまるか分からないものは、「8 その他」の()中に食べたものの名前を書いてください。	

Ⅱ 調査結果の概要

1 身体·身体活動状況等

表1 学年及び男女別身体活動レベル*と身体状況、これらから算出した推定エネルギー必要量

		人数	身体活動レベルごとの人数		平均身長	平均体重	平均身長別	推定エネルギー	
学年	性別		レベル I (低い)	レベル II (ふつう)	レベルIII (高い)	(cm)	十月本里 (kg)	標準体重 (kg)	が要量(kcal)
小学5年	男	654	178	209	267	138.6±6.3	33.9±6.9	33.8±4.7	2156±367
(10歳)	女	651	261	248	142	139.8±7.2	33.5±6.6	34.0±5.3	1936±348
中学2年	男	331	28	51	252	159.3±8.0	48.8±9.2	48.5±6.5	2700±401
(13歳)	女	355	124	57	174	154.1±5.6	47.3±7.2	46.7±3.6	2343±321

*身体活動レベルについて

レベル I (低い 1.45): 体育や休み時間以外は、活発な運動がほとんどない。 (1日30分程度まで)

レベル**Ⅱ** (ふつう 1.65): よく外遊びや運動 (部活) をする。(1 日 1 時間程度)

レベルⅢ (高い 1.85): 外遊びや運動(部活)を、1日2時間程度している。または、平日は1日1時間程度までの外遊び(または運動)をしており、休日は1日2時間以上活発に体を動かしている。

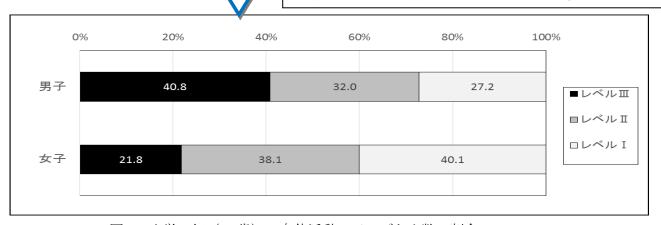


図1 小学5年(10歳) 身体活動レベルごと人数の割合

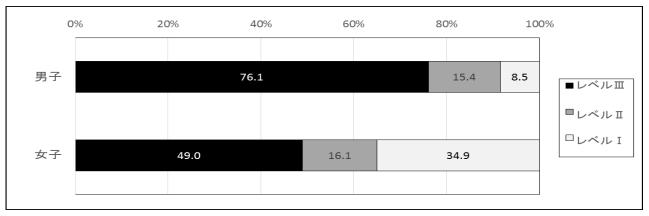


図2 中学2年(13歳) 身体活動レベルごと人数の割合

身体活動レベルは、【調査票 1 】食物摂取頻度調査の「毎日の生活(活動内容)」により、レベル I(低い 1.45)、レベル II(ふつう 1.65)、レベル II(高い 1.85)の 3 段階に分けた。

身体活動レベルの平均値は、小学 5年(10歳)では、男子が 1.68、女子が 1.61、全体が 1.65であり、中学 2年(13歳)では、男子が 1.79、女子が 1.68、全体が 1.73であった(表 1)。小学 5年では、現行の「学校給食実施基準」(文部科学省 平成 25年 1月 30日改正)で示されている「児童又は生徒 1人 1回当たりの学校給食摂取基準(以下「学校給食摂取基準」)を算出するために設定されている身体活動レベル 1.7より低い(「学校給食摂取基準」では、エネルギーを算出するにあたり、児童(6歳~7歳)は 1.65、児童(8歳~11歳)及び生徒(12歳~14歳)は身体活動レベルを 1.7と設定している)。

2 食事摂取基準の状況

(1) 食事摂取基準から算出した推定エネルギー必要量について

「日本人の食事摂取基準(以下「食事摂取基準」)(2010年版)」(厚生労働省)は、健康な個人または集団を対象として、国民の検討の維持・増進、生活習慣病の予防を目的とし、エネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を示すものである。

上記表1の推定エネルギー必要量の算定に当たっては、性別、年齢、身長から「児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」(文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課監修、日本学校保健会編 平成18年3月)により身長別標準体重を求め、「食事摂取基準(2010年版)」(厚生労働省)の考え方を踏まえて、個人ごとに推定エネルギー必要量を算出し、平均値等を年齢別・男女別に求めたものである。

推定エネルギー必要量は、同じ年齢、性別であっても、身長や身体活動レベルによって個人差が生じる。どのくらい個人差があるのかを、(2)児童生徒の食事摂取基準の図3から図6に示した。推定エネルギー必要量の最小値と最大値の差は、小学5年男子女子、中学2年女子では約200kcal、中学2年男子では約1500kcalの差がある。

また、表1から1回の食事の推定エネルギー必要量として、「学校給食摂取基準」の考え方を踏まえて、年齢別の推定エネルギー必要量の33%を求めると、小学5年(10歳)で682kcal、中学2年(13歳)で838kcalであり、小学5年(10歳)では約70kcal低く、中学2年では同じくらいであった(参考値として「学校給食摂取基準」では、児童(10歳~11歳)の場合750kcal、生徒(12歳~14歳)820kcalと示されており、「この摂取基準は、男女比1:1として全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に適用すること」とある)。

(2) 食事摂取基準から算出した児童生徒の推定エネルギー必要量の分布

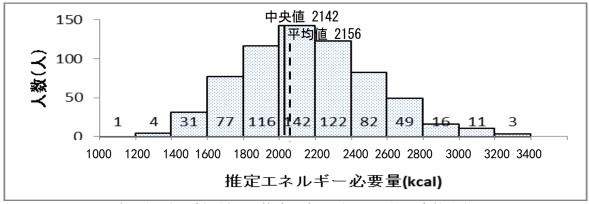


図3 小学5年(10歳) 男子 推定エネルギー必要量の度数分布

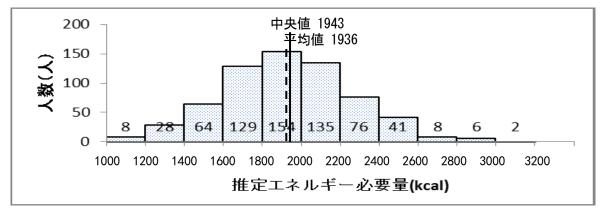


図4 小学5年(10歳)女子 推定エネルギー必要量の度数分布

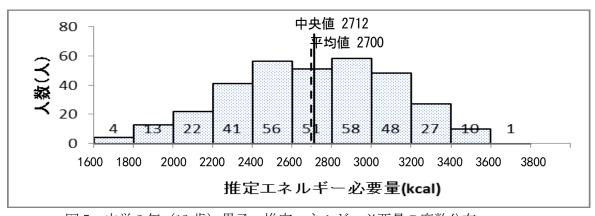


図5 中学2年(13歳) 男子 推定エネルギー必要量の度数分布

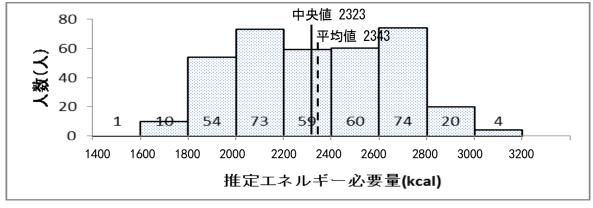


図6 中学2年(13歳)女子 推定エネルギー必要量の度数分布

3 食品群別摂取状況

(1)児童生徒の平日の学年別摂取状況(1日)

表 2 学年別摂取状況

衣 2 子中							
	平日の摂取量の平均土標準偏差						
区分	小学5年生(10歳)	中学2年生(13歳)					
穀類	375.6 ± 69.0	419.1 ± 77.6					
いも及び でんぷ ん 類	63.8 ± 32.3	61.3 ± 31.6					
砂糖類	13.9 ± 5.8	12.2 ± 6.2					
油脂類	21.7 ± 6.4	22.9 ± 6.1					
種実類	3.0 ± 2.7	3.4 ± 3.4					
豆類·豆 製品類	63.7 ± 38.2	59.1 ± 34.3					
魚介類· 小魚類	63.7 ± 31.7	61.6 ± 30.5					
肉類	104.3 ± 40.2	112.5 ± 44.8					
卵類	45.6 ± 30.2	46.1 ± 30.5					
牛乳·乳 製品類	440.4 ±193.1	449.8 ± 202.7					
藻類	5.8 ± 3.9	6.1 ± 4.0					
野菜類 (きのこ類 を含む)	270.5 ± 85.5	2692 ± 92.9					
果実類	90.9 ± 68.9	100.9 ± 80.2					
菓子類· 嗜好飲 料	193.1 ± 138.8	219.1 ± 159.7					

(参考) 学校給食摂取状況

(参考)字校給食摂取状况							
	X		小学	中学			
			4 年生	2 年生			
			学校給食	学校給食			
	分		の摂取量	の摂取量			
	米•: *		48.7±6.7	64.1±11.2			
穀類	パン びぬ 小麦 その 日	かん 影粉 ひ製	34.1±8.6	45.7±13.7			
	んぷん		25.6±8.2	28.6±11.7			
砂	糖	類	3.4±1.7	3.5±1.8			
油	脂	類	3.7±1.4	4.2±1.5			
種	実	類	1.2±1.0	1.5±1.2			
豆		類	6.8±3.5	7.7±4.2			
豆	製品	類	7.6±7.3	14.4±13.6			
魚	介	類	13.7±5.4	17.2±7.6			
肉		類	20.3±.7	27.4±6.3			
ΔD		類	5.4±3.2	6.5±4.1			
4		乳	205.5±0.9	204.8±2.5			
乳	製品	類	6.9±5.6	11.5±8.5			
小	魚	類	2.2±2.2	3.7±3.8			
· 漢		類	1.3±1.2	2.2±1.9			
緑	黄色野	菜類	31.9±8.5	39.0±7.9			
そ	の他野	菜類	71.3±7.5	90.7±5.9			
果	実	類	16.7±3.2	24.4±14.5			
き	のこ	類	2.8±1.9	3.6±2.3			

単位:g

平成26年度6月学校給食栄養報告書(県教委)

(2) 食品群別摂取量の分布

① 小学校

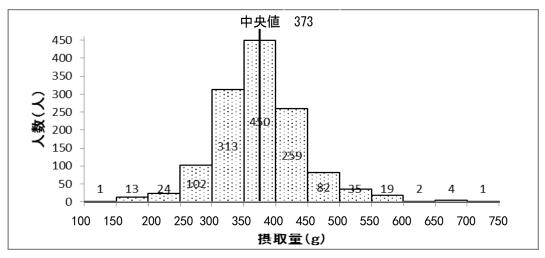


図7 穀類 摂取量度数分布

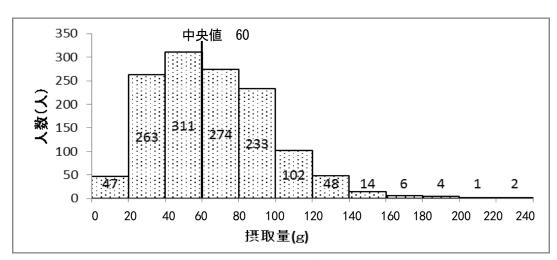


図8 いも及びでんぷん類 摂取量度数分布

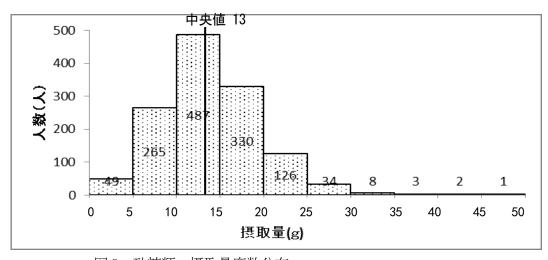


図 9 砂糖類 摂取量度数分布

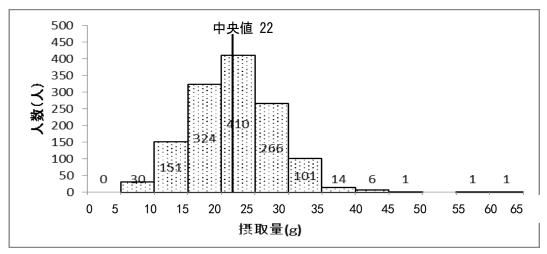


図 10 油脂類 摂取量度数分布

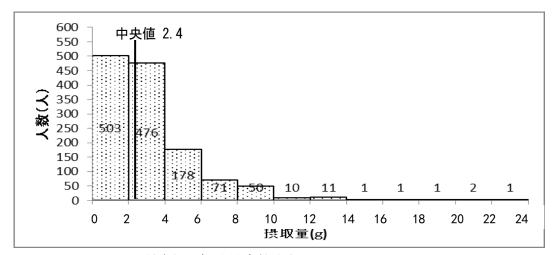


図 11 種実類 摂取量度数分布

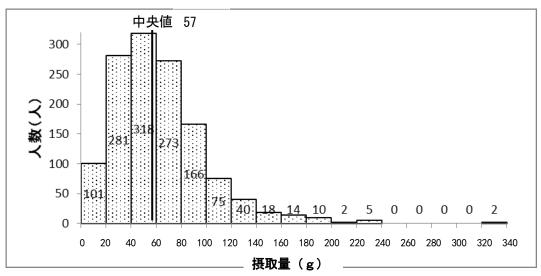


図 12 豆·豆製品 摂取量度数分布

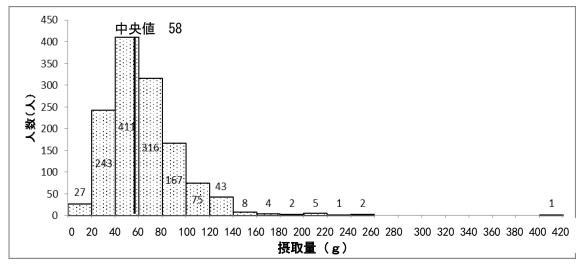


図13 魚介類・小魚類 摂取量度数分布

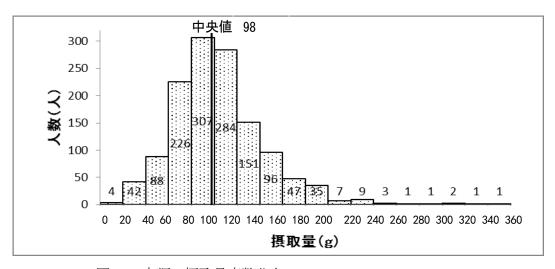


図 14 肉類 摂取量度数分布

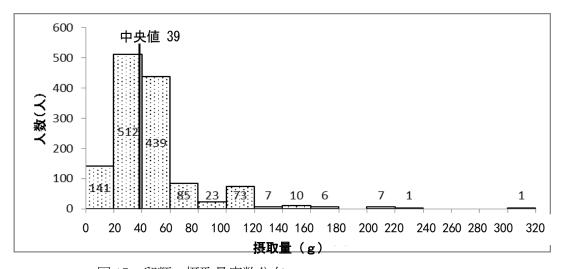


図 15 卵類 摂取量度数分布

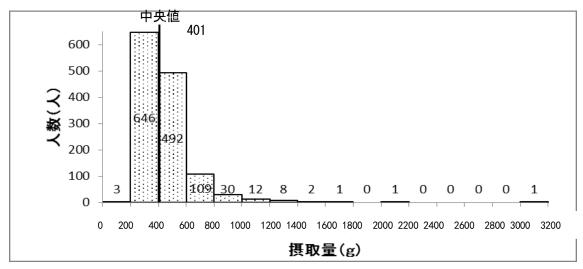


図16 牛乳・乳製品 摂取量度数分布

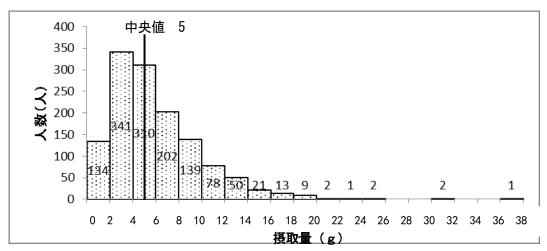


図17 藻類 摂取量度数分布

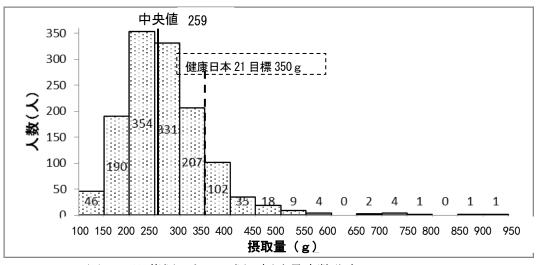


図18 野菜類・きのこ類 摂取量度数分布

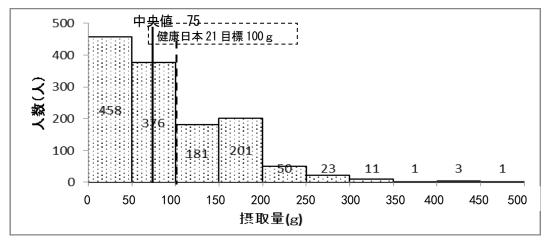


図 19 果実類 摂取量度数分布

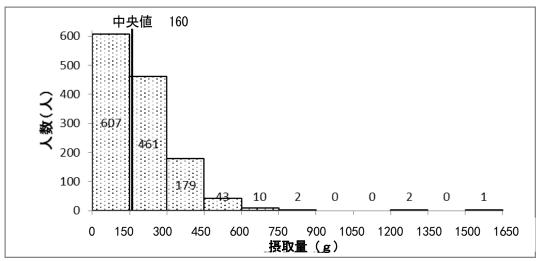


図 20 菓子類·嗜好飲料 摂取量度数分布

② 中学校

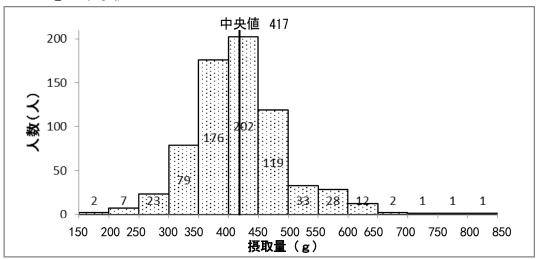


図 21 穀類 摂取量度数分布

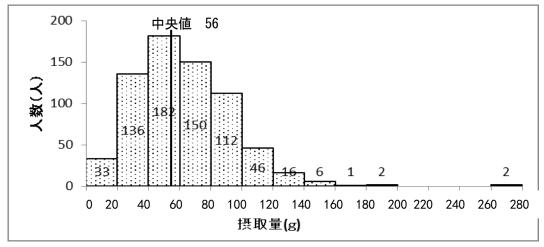


図22 いも及びでんぷん類 摂取量度数分布

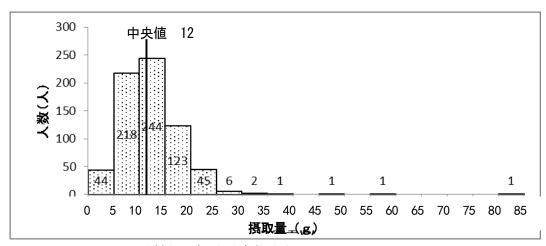


図 23 砂糖類 摂取量度数分布

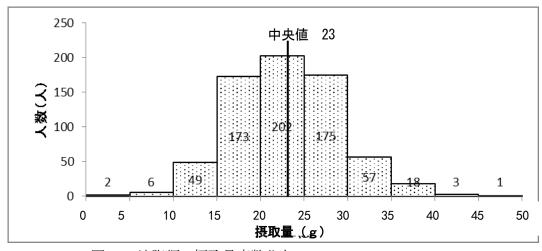


図 24 油脂類 摂取量度数分布

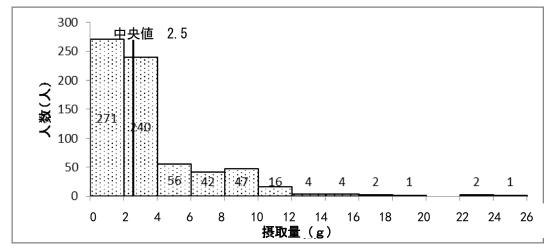


図 25 種実類 摂取量度数分布

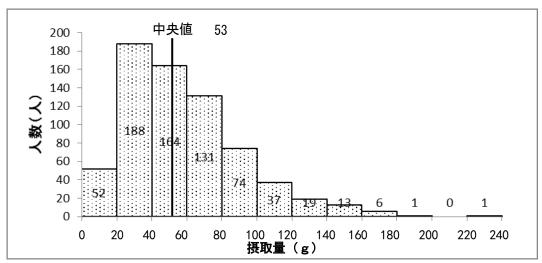


図 26 豆·豆製品 摂取量度数分布

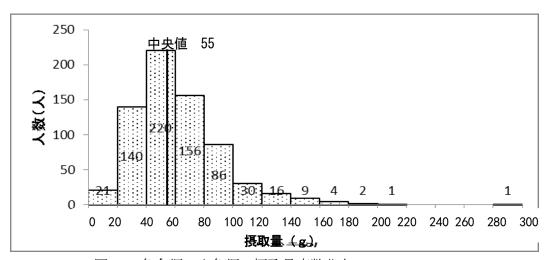


図27 魚介類・小魚類 摂取量度数分布

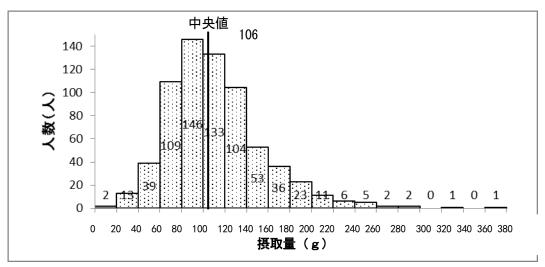


図 28 肉類 摂取量度数分布

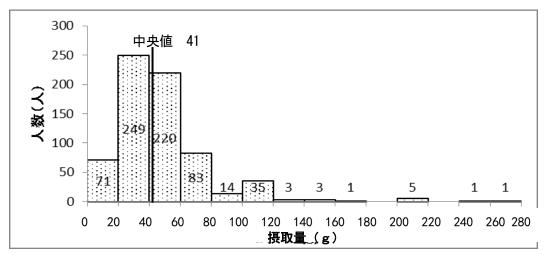


図 29 卵類 摂取量度数分布

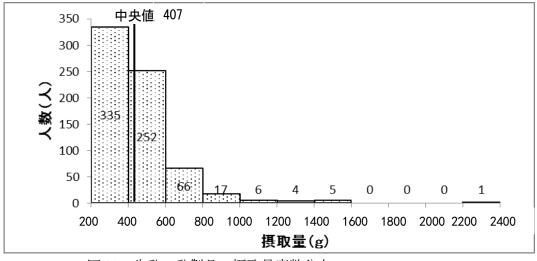


図30 牛乳・乳製品 摂取量度数分布

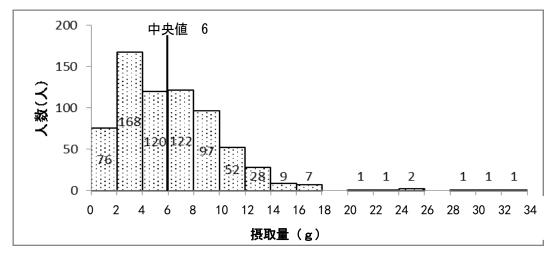


図 31 藻類 摂取量度数分布

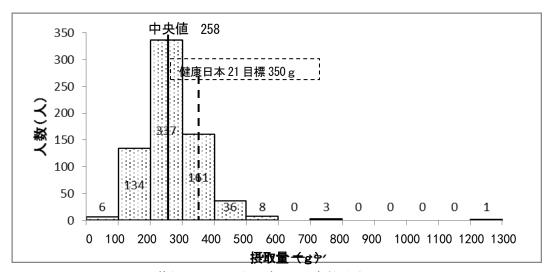


図32 野菜類・きのこ類 摂取量度数分布

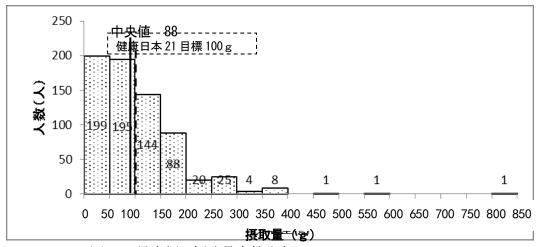


図 33 果実類 摂取量度数分布

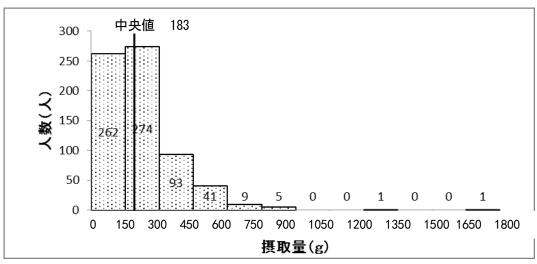


図 34 菓子類·嗜好飲料 摂取量度数分布

食品群別の摂取状況等について

- 魚介類・小魚類と肉類の摂取量の平均値では、小学5年も中学2年も魚介類・小魚類より、肉類の摂取量が多かった(表2)。
- 牛乳・乳製品類の摂取量については、平均値では、小学5年も中学2年も約450gで、中央値では、小学5年、中学2年とも約400gであった(表2、図16、図30)。 学校給食実施日には、学校給食で摂取している牛乳(1本分)に加えて、牛乳1本程度を家庭で摂取している傾向であった(図16、図30)。
- 野菜類の摂取量(きのこ類を含む)については、平均値は小学5年も中学2年もほぼ同じ270g程度、中央値は小学5年も中学2年もほぼ同じ260g程度であった(表2、図18、図32)。

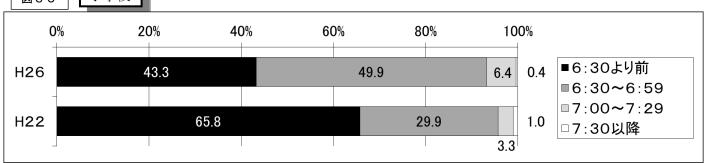
摂取量の分布からも、健康づくりの指標となる「健康日本21 (第2次)」(平成25年度~平成34年度 厚生労働省)における1日に摂取すべき野菜の目標量である350gに比べて、学校給食実施日であっても大部分の児童生徒で少ない傾向がみられた。

○ 果物類の摂取量は、中央値は小学5年が80g程度、中学2年が90g程度で、健康づくりの指標となる「健康日本21(第2次)」における1日の果物の摂取目標量である100gより少ない傾向がみられ、摂取量の分布が100g未満の人数が小学5年、中学2年ともに全体の3分の2程度を占め、果物の摂取不足の傾向がうかがえた(図19、図33)。

4 食生活アンケート

問1 あなたは、朝、何時ごろに起きますか。

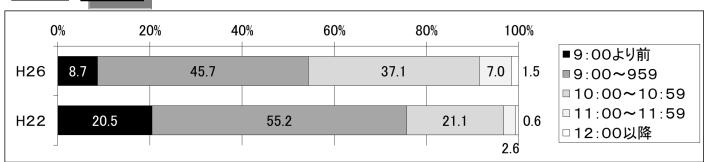


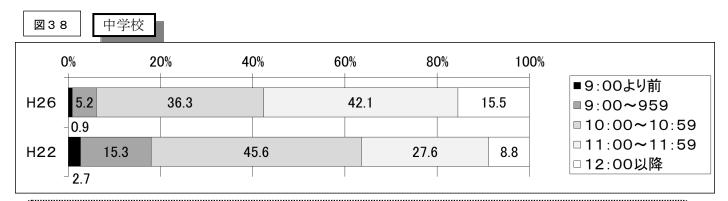




問2 あなたは、夜、何時ごろに寝ますか。

図37 小学校





- 起床時刻は、小学校では、7時までが93.2%、中学校では88.2%で、H22調査に比較し、起床時刻の遅い人の割合が増加していた。
- 就寝時刻は、小学校では、10 時までが 54.4%、中学校では 11 時までが 42.4%で、これも H22 調査に 比較し、就寝時刻の遅い人の割合が増加していた。

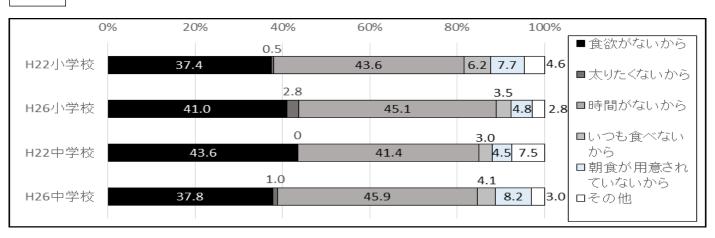
問3 あなたは、毎日朝食を食べますか。

図39



問4 朝食を食べないことがある理由はなんですか。

図40



問5 朝食はだれと食べることが多いですか。

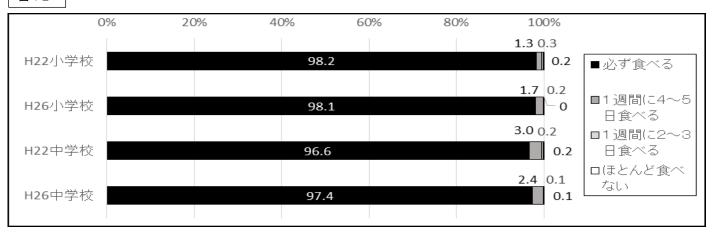
図41



○ 小学校は「朝食を必ず食べる」割合が89.0%でH22調査に比較し、わずかに減少していた(図39)。 ○ 朝食を食べない理由では、小・中学校とも「時間がないから」の割合が最も高く、次いで「食欲がないから」となっていた。また、小・中学校とも「時間がないから」と回答した割合がH22調査と比較し、増加していた(図40)。

問6 あなたは、毎日夕食を食べますか。

図42

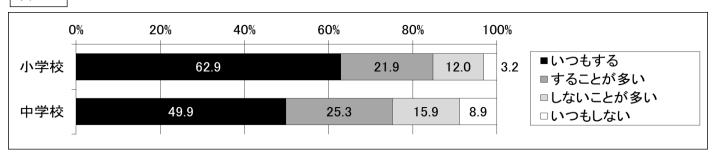


問7 夕食はだれと食べることが多いですか。

図43 0% 20% 40% 60% 80% 100% 3.2 ■家族そろって食 H22小学校 61.5 33.7 1.6 べる 2.5 ■家族のだれかと 0.8 H26小学校 52.9 43.8 食べる 3.1 □子どもだけで食 H22中学校 54.3 35.0 7.6 べる 2.3 ロー人で食べる H26中学校 51.5 40.1 6.1

問8 家で食事をするときに「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしますか。

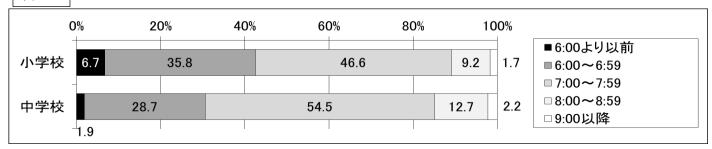
図44



- 食事環境(食事をだれと食べることが多いか)では、朝食も夕食も「子どもだけで食べる」、「一人で食べる」と回答した割合は、小・中学校とも H22 調査に比較し、減少していた(図41、図43)。
- 家庭での食事の時のあいさつでは、小学校の約6割、中学校の約半数が「いつもする」と回答していた(図44)。

問9 あなたは夕食を、何時ごろ食べますか。

図45



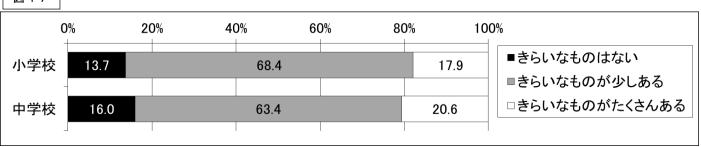
問10 あなたは、3度の食事以外に、間食や夜食を食べますか。(水、お茶は除く。)

図46



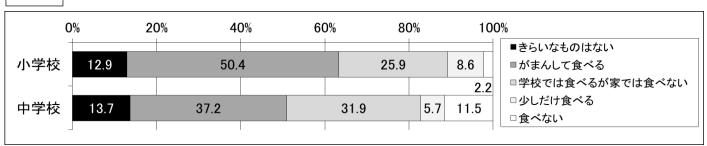
問11 あなたは、食べ物の好ききらいはありますか。(食物アレルギーは除く。)

図47



問12 きらいな食べ物は、食事のときにはどうしていますか。

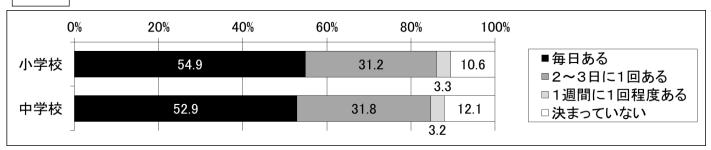
図48



- 夕食を食べる時間は、小学校も中学校も約半数が午後7時台に食べていた(図45)。
- 間食や夜食の摂取状況は、小学校でほぼ4人に1人、中学校でほぼ5人に1人が「ほとんど毎日食べる」と回答し、小学校、中学校ともにほぼ4人に1人が「ほとんど食べない」と回答していた(図46)。
- 〇 好き嫌いについては、小学校でほぼ 6 人に 1 人、中学校でほぼ 5 人に 1 人が「きらいなものがたくさんある」と回答していた(図 4 7)。小学校では約半数が「嫌いなものをがまんして食べる」と回答していた(図 4 8)。

問13 あなたは、毎日排便はありますか。

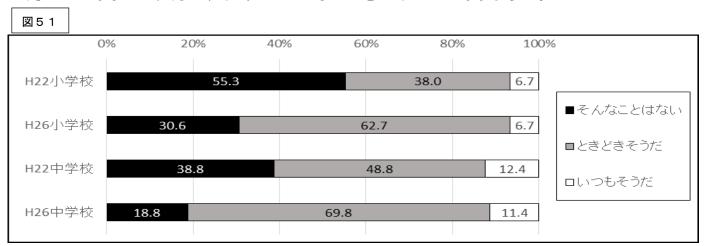
図49



問14 あなたは、身体のだるさや疲れやすさを感じることがありますか。

図50 100% 0% 20% 40% 60% 80% ■そんなことはない 小学校 18.6 64.8 16.6 ■ときどきそうだ □いつもそうだ 中学校 8.4 64.9 26.7

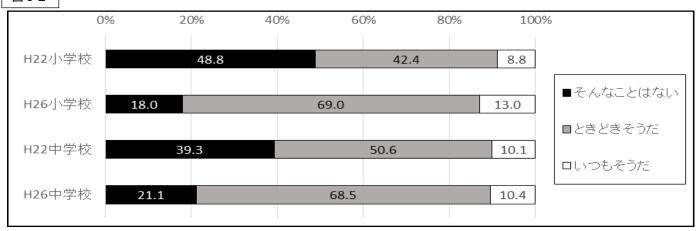
問15 あなたは、何もやる気がおこらないと感じることがありますか。



- 排便が「毎日ある」と答えたのは、小・中学校ともに約半数であった(図49)。
- 身体のだるさや疲れやすさを感じる子ども(「ときどきそうだ」、「いつもそうだ」) は、小学校で81.4%、中学校で91.6%であった(図50)。
- 何もやる気が起こらないと感じている子ども(「ときどきそうだ」、「いつもそうだ」)は、小学校で69.4%、中学校で81.2%であった(図51)。小・中学校ともに、「そんなことはない」と回答した割合がH22調査に比較し、減少していた(図51)。

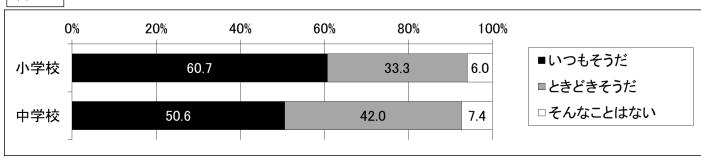
問16 あなたは、イライラすることがありますか。

図52



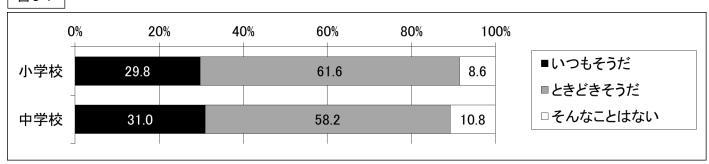
問17 あなたは、食事が楽しいですか。

図53



問18 あなたは、前向きな姿勢でものごとに取り組んでいますか。

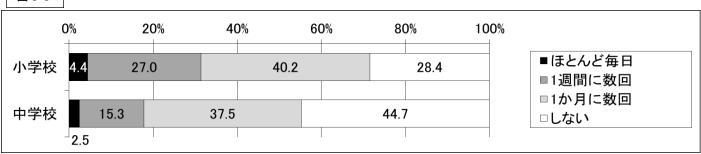
図54



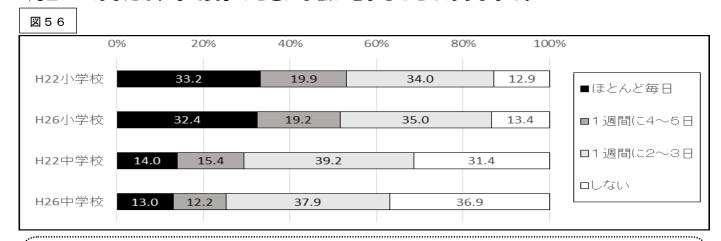
- イライラすることがある子ども(「ときどきそうだ」、「いつもそうだ」) は、小学校で82.0%、中学校で78.9%であった(図52)。小・中学校ともに、「そんなことはない」と回答した割合がH22調査に比較し、減少していた(図52)。
- 食事が楽しいと感じている子ども (「ときどきそうだ」、「いつもそうだ」) は、小学校で 94.0%、中学校で 92.6%であった (図53)。
- 前向きな姿勢でものごとに取り組んでいる子ども(「ときどきそうだ」、「いつもそうだ」)は、小学校で 91.4%、中学校で 89.2%であった(図 5.4)。

問19 あなたは、家で自分で調理をすることがありますか。

図55

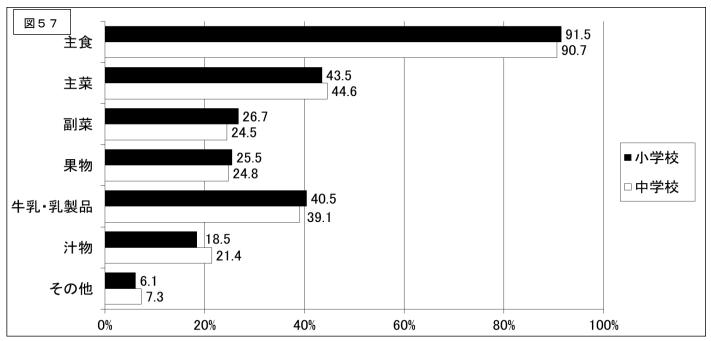


問20 あなたは、家で食事のときに手伝いをすることがありますか。

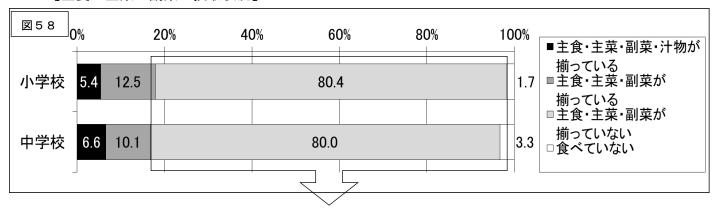


- 〇 家での調理の頻度では、小学校でほぼ 4 人に 1 人、中学校で約半数が「家で自分で調理をしない」と回答していた(図 5 5)。
- 〇 家での食事の手伝いの頻度では、小学校でほぼ 7 人に 1 人、中学校でほぼ 3 人に 1 人が「手伝わない」と回答していた(図 5 6)。中学校では「手伝わない」と回答した割合が H22 調査に比較し、増加していた(図 5 6)。

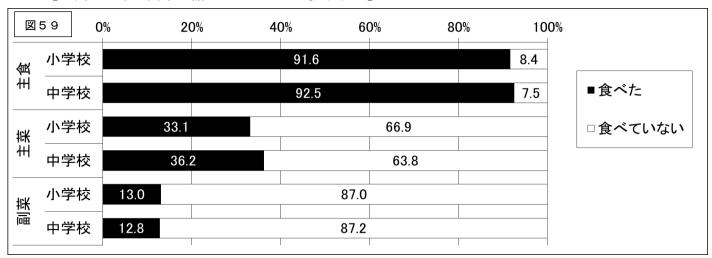
問21 あなたは、今日、朝食に何を食べましたか。(複数回答可) 【主食、主菜、副菜、果物、牛乳・乳製品、汁物、その他の摂取状況】



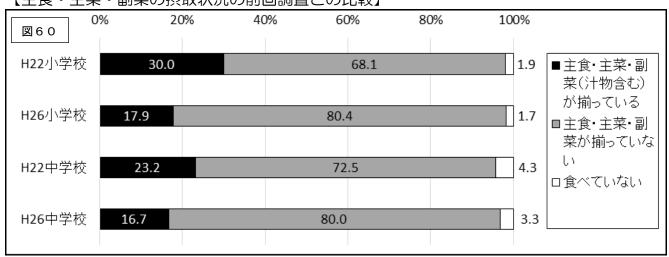
【主食・主菜・副菜の摂取状況】



【主食・主菜・副菜が揃っていない人の摂取状況】



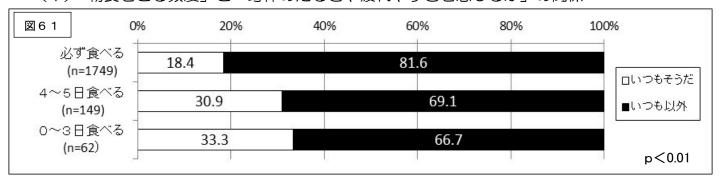
【主食・主菜・副菜の摂取状況の前回調査との比較】



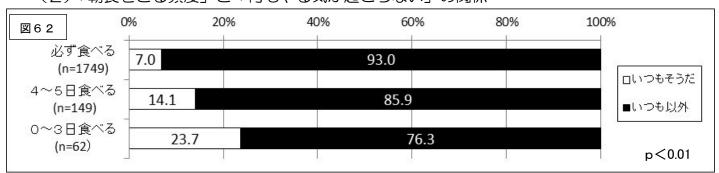
- 主食・主菜・副菜が揃っているのは、小学校 17.9%、中学校 16.7%である(図 5 8)。
- 主食・主菜・副菜が揃っていない人のうち、主食は小・中学校は90%以上が食べている。主菜については60%以上、副菜は80%以上が食べていない(図59)。
- 小・中学校ともに、「主食・主菜・副菜(汁物を含む)が揃っている」朝食を食べている割合が H22 調査に比較し、減少していた(図60)。

5 児童生徒の朝食の摂取状況と心身の状態の関係

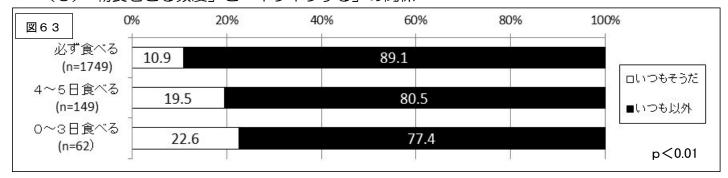
(1)「朝食をとる頻度」と「身体のだるさや疲れやすさを感じるか」の関係



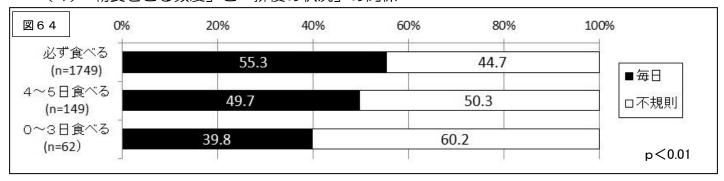
(2)「朝食をとる頻度」と「何もやる気が起こらない」の関係



(3)「朝食をとる頻度」と「イライラする」の関係



(4)「朝食をとる頻度」と「排便の状況」の関係



- %1 「朝食をとる頻度」は【調査票2】の食生活アンケート問3から「 $4\sim5$ 日食べる」は「1 週間に $4\sim5$ 日食べる」、「 $0\sim3$ 日食べる」は「1週間に $2\sim3$ 日食べる」と「ほとんど食べない」を合わせた。
- ※2 (1)~(3)の「いつも以外」は「ときどきそうだ」と「そんなことはない」を合わせた。
- %3 (4)の「毎日」は排便が「毎日ある」、「不規則」は「 $2\sim3$ 日に 1 回ある」「1 週間に 1 回程度ある」「決まっていない」を合わせた。
- 毎日朝食をとる児童生徒と、朝食を欠食することのある児童生徒とでは、「身体のだるさや疲れやすさを感じるか」、「何もやる気がおこらない」、「イライラする」、「排便の状況」について分布に違いが見られた。 (図 6 1 ・ 6 2 ・ 6 3)。
- 朝食をとる頻度が高いほど、「毎日排便がある」児童生徒の割合が高かった(図64)。

6 児童生徒の朝食内容(学校給食実施日)と心身の状態の関係

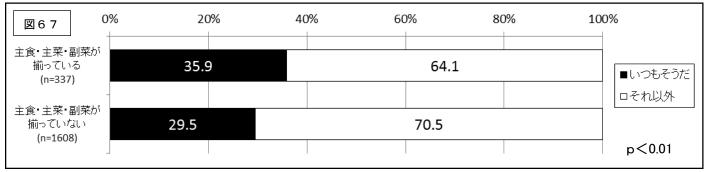
(1)「朝食の内容」と「身体のだるさや疲れやすさを感じるか」の関係



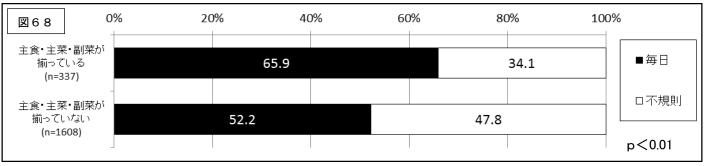
(2)「朝食の内容」と「食事が楽しいか」の関係



(3)「朝食の内容」と「前向きな姿勢でものごとに取り組むか」の関係



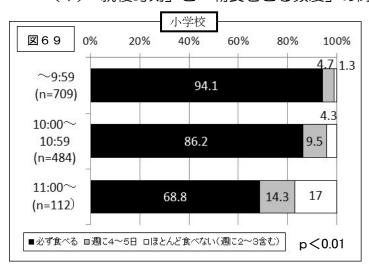
(4)「朝食の内容」と「排便の状況」の関係

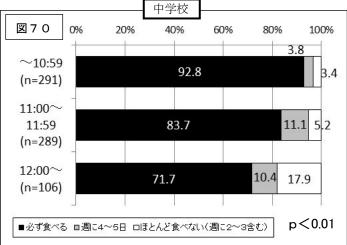


- ※1 「朝食の内容」は【調査票2】の食生活アンケート問21から「主食・主菜・副菜が揃っている」は「2ご飯・パン・麺類等の主食」「3魚・肉・卵・大豆製品等のおかず」「4野菜のおかず」の3つが必ず揃っているものを合わせた。「主食・主菜・副菜が揃っていない」は「食べていない」と「主食・主菜・副菜が揃っている」以外である。
- ※2 (1)~(3)の「それ以外」は「ときどきそうだ」と「そんなことはない」を合わせた。
- %3 (4)の「毎日」は「毎日ある」、「不規則」は「 $2\sim3$ 日に 1 回ある」「1 週間に 1 回程度ある」「決まっていない」を合わせた。
- 「朝食の内容」が「主食、主菜、副菜が揃っている」ほうが、「主食、主菜、副菜が揃っていない」より「いつも身体のだるさや疲れやすさを感じる」割合が低く(図65)、「いつも食事が楽しい」、「いつも前向きな姿勢でものごとに取り組む」、「毎日排便がある」の割合が高くなっている(図66・67・68)。

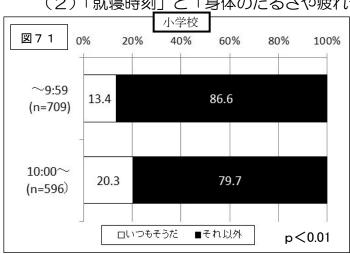
7 児童生徒の就寝時刻と朝食摂取状況、心身の状態の関係

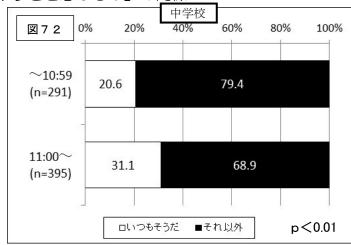
(1)「就寝時刻」と「朝食をとる頻度」の関係



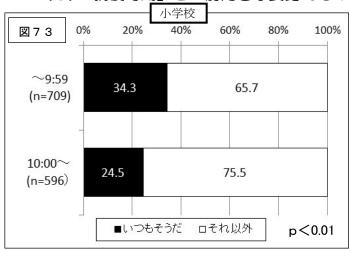


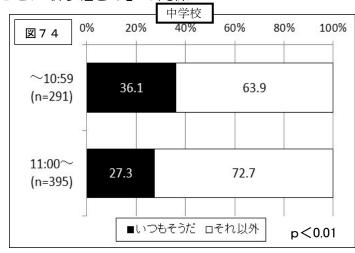
(2)「就寝時刻」と「身体のだるさや疲れやすさを感じるか」の関係





(3)「就寝時刻」と「前向きな姿勢でものごとに取り組むか」の関係

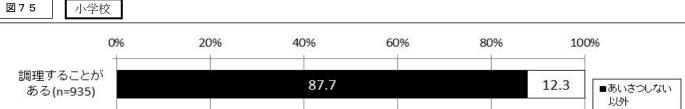




- ※1 「就寝時刻」は【調査票2】の食生活アンケート問2から小学校の「~9:59」は「9時より前」と「9:00~9:59」を合わせた。「11:00~」は「11:00~11:59」と「12:00 以降を合わせた。中学校は小学校よりも 1 時間遅い時刻で分けた。
- ※2 (2)~(3)の「それ以外」は「ときどきそうだ」と「そんなことはない」を合わせた。
- 小学校、中学校とも就寝時刻が遅くなるほど、朝食を「必ず食べる」割合が低くなり、「ほとんど食べない」割合が高くなっている(図69・70)。
- 小学校、中学校とも就寝時刻が早いほうが、いつも身体のだるさや疲れやすさを感じる割合が低く、いつも前向きな姿勢でものごとに取り組む割合が高くなっている(図71・72・73・74)。

8 児童生徒の食事の手伝いや食事作りと食事のあいさつ等の関係

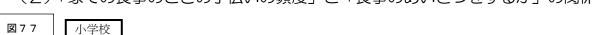
(1)「家での自分で調理をする頻度」と「食事のあいさつをするか」の関係







(2)「家での食事のときの手伝いの頻度」と「食事のあいさつをするか」の関係









- ※1 「調理をすることがある」は【調査票2】の食生活アンケート問 19 から「ほとんど毎日」「1 週間に数回」「1 か月に数回」を合わせた。「手伝いをすることがある」は同アンケート問 20 の「ほとんど毎日」「1 週間に 4~5 日」「1 週間に 2~3日」を合わせた。
- ※2 「あいさつをしない以外」は【調査票2】の食生活アンケート問8から「いつもする」「することが多い」「しないことが多い」を合わせた。
- 「調理をすることがある」、「手伝いをすることがある」より、「調理しない」、「手伝いをしない」児童生徒の方が「食事のあいさつをしない」割合が高い(図75・76・77・78)。

(3)「家での食事のときの手伝いの頻度」と「食べ物の好き嫌いがあるか」の関係

図79 小学校

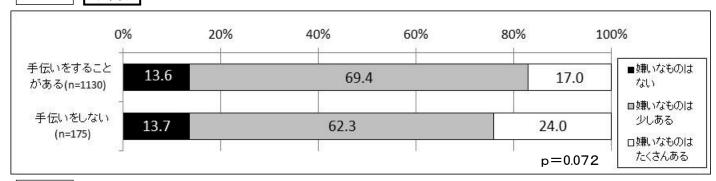
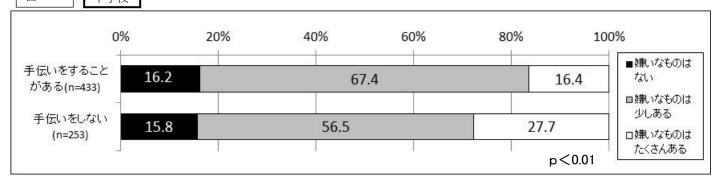


図80 中学校



(4)「家での自分で調理する頻度」と「食事が楽しいか」の関係

図8 1 小学校

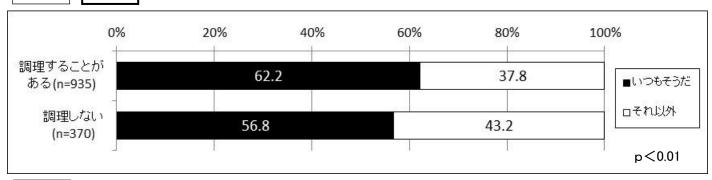
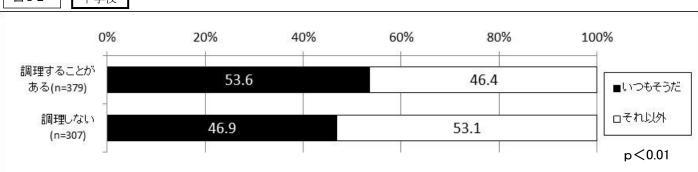


図82 中学校



※1 「食事が楽しいか」の「それ以外」は「ときどきそうだ」と「そんなことはない」を合わせた。

- 「手伝いをしない」より「手伝いをすることがある」児童生徒の方が、「嫌いな物がたくさんある」割合が低かった(図79・80)。
- 「調理しない」より「調理をすることがある」児童生徒の方が、「いつも食事が楽しい」割合が高い(図81・82)。食事の手伝いをしたりや調理したりするなどの家庭での食事の関わりは、「嫌いな食べ物」や「食事の楽しみ」に関係があると考えられる(図79・80・81・82)。

9 児童生徒の食事環境(食事を誰と食べるか)と心身の状態の関係

(1)「食事を誰と食べるか」と「身体のだるさや疲れやすさを感じるか」の関係





(2)「食事を誰と食べるか」と「イライラする」の関係



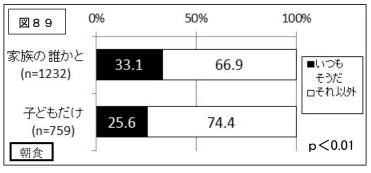


(3)「食事を誰と食べるか」と「食事が楽しい」の関係





(4)「食事を誰と食べるか」と「前向きな姿勢でものごとに取り組むか」の関係





- ※1 「食事を誰と食べるか」は【調査票2】の食生活アンケート問5問7から「家族の誰かと」は「家族そろって食べる」 「家族の誰かと食べる」を合わせた。「子どもだけ」は「子どもだけで食べる」と「一人で食べる」を合わせた。
- ※2 「それ以外」は「ときどきそうだ」と「そんなことはない」を合わせた。
- 朝食、夕食とも「子どもだけ」で食べるより、「家族の誰かと」一緒に食べる児童生徒のほうが、心身の状態がよいといえる(図83~90)。

「家族の誰かと」一緒に食べるほうが、「子どもだけ」で食べるより、「食事が楽しい」と答える児童生徒が多いことから(図87・88)、食事を通して家族のコミュニケーションを図ることが望まれる。

平成26年度児童生徒の食生活等実態調査のまとめ作成協力者

○児童生徒の食生活等実態調査ワーキング委員会委員

(五十音順) ○:委員長

		(11,	
愛染	麻水	宇多津町立宇多津小学校 栄養教諭	平成 26 年度
赤松	美雪	まんのう町立仲南小学校 栄養教諭	平成 26 年度
安藤	千代子	善通寺市立中央小学校 栄養教諭	平成 26 年度
池内	夕起子	高松市立香川第一中学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
石田	美代	三豊市立高瀬中学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
亀井	弘美	香川丸亀養護学校 栄養教諭	平成 26 年度
香西	京子	高松市立仏生山小学校 栄養教諭	平成 26 年度
高津	敏恵	三豊市立詫間小学校 栄養教諭	平成 26 年度
神野	久子	東かがわ市立本町小学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
下岡	純子	高松市立国分寺北部小学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
定谷	晴子	高松市立古高松南小学校 栄養教諭	平成 26 年度
白坂	吉識	高松市立太田南小学校 栄養教諭	平成 26 年度
竪石	季子	高松市立香西小学校 栄養教諭	平成 26 年度
中尾	しのぶ	坂出市立坂出中学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
秦	和義	高松市立亀阜小学校 栄養教諭	平成 26 年度
前川	奈穂	高松市立高松第一小学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
宮井	通子	高松市立屋島小学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
宮武	千津子	高松市立国分寺南部小学校 栄養教諭	平成 26 年度
村井	栄子	丸亀市立綾歌中学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
〇村上	淳	中国学園大学現代生活学部 准教授	平成 25・26 年度
山本	克枝	坂出市立坂出小学校 栄養教諭	平成 25・26 年度
山本	菜穂子	小豆島町立小豆島中学校 栄養教諭	平成 26 年度

教育委員会事務局職員

西森	千鶴	県教委保健体育課	主任指導主事	平成 25・26 年度	